

令和6年度震災伝承に関する主な事業（宮城県復興支援・伝承課）

1. 震災伝承連携推進事業

震災伝承の推進体制を構築するため、震災伝承みやぎコンソーシアムの運営等を行うもの。

令和6年度事業のポイント

- 震災伝承連携推進事業補助金【継続】
＜補助上限150万円、補助率10/10＞
 - 900万円（150万円×6団体）【R5同額】
 - 他の模範となるような先進的な伝承活動に補助
- コンソーシアム部会活動補助（仮称）【新規】
＜補助上限150万円、補助率10/10＞
 - 450万円（150万円×3部会）
 - 部会活動に伴い必要となる旅費、諸謝金、消耗品費等が対象
 - 人件費、賃料、光熱水費等は対象外

2. みやぎ東日本大震災津波伝承館の機能強化

東日本大震災の記憶と教訓を永く後世に伝え継ぐために、みやぎ東日本大震災津波伝承館（以下「みやぎ伝承館」と略）の機能を強化するもの。

令和6年度事業のポイント

- 東北大学災害科学国際研究所との共同研究【継続】
 - 思い致す場を活用した語り部講話等を4月から年間を通して実施
- 震災伝承広報支援補助金【一部拡充を検討中】
＜補助上限10万円、補助率1/2＞
 - 50万円（10万円×5団体）
 - 伝承活動を行う伝承団体又は個人が活動を広報するための印刷物発行の費用を補助するもの
 - R5までは、みやぎ伝承館に配架する冊数分のみ補助対象だったが、対象拡充を検討中

3. 伝承体制の強化

持続可能な震災伝承体制構築のための環境整備を行うもの。

令和6年度事業のポイント

- 震災伝承CSR促進事業補助金【継続】
＜補助上限300万円、補助率1/2＞
 - 900万円（300万円×3団体）【R5同額】
 - 企業等がCSR事業として県内伝承団体と連携して行う伝承活動に補助
- 震災伝承教育旅行受け入れ体制強化事業【継続】
 - 県内伝承団体のPRツールの作成やデータベース化、コーディネート（委託事業）
- 次世代担い手育成促進事業【新規】
 - 県立学校への語り部派遣を試行的に実施
 - 県立学校からの依頼を受け、復興支援・伝承課が学校のニーズに沿った語り部を紹介し、謝金及び旅費を負担

4. 中小企業の防災力強化

震災伝承を通じた企業研修により中小企業の防災力を強化するもの。

令和6年度事業のポイント

- 東北大学災害科学国際研究所との共同研究【継続】
 - 研修プログラムの作成
 - R5はプログラム作成と試行的な研修を1回実施
- 中小企業向け防災研修【新規】
 - 上記で作成したプログラムによる研修を年4回程度実施

5. 交流人口の拡大推進

交流人口の拡大による被災地の活性化を図るもの。

令和6年度事業のポイント

- 被災地活性化事業【継続】
 - 国内外からの来県者呼び込みのためのマーケティング、モニターツアー等の実施
 - R5はモニターツアーを3回実施し、モデルコースの作成及び県内施設等の紹介フライヤーを作成のうえ、特設サイトを開設
- 教育旅行セミナー等でのPR【継続】
 - みやぎ伝承館として全国で開催される教育旅行セミナー等に参加し、県内伝承施設や伝承団体の取組等を紹介

6. 情報発信

被災地の現状や県内の伝承活動の情報を広く発信し、震災の風化防止と被災地の活性化を図るもの。

令和6年度事業のポイント

- 広報誌の発行【継続】
 - 広報誌「Baton」「みやぎ・復興の歩み」の発行
- SNSを使った情報発信【継続】
 - 無料のSNSサイトの活用によるプル型の情報発信と、LINEの活用によるプッシュ型の情報発信を実施